

♪ 2016年度 *poco a poco* ♪

Nr. 7 2016年7月14日(木) 文責：プファイル・辰巳

1 学期ミニコンサート

2016年度第1回目のミニコンサートが、7月8日金曜日の放課後に開催されました。エントリーナンバーは37番までありましたが、みなさんのご協力により、大変順調にプログラムを進行することができました。ありがとうございました。

出演してくれたみなさんはもちろんのこと、会場準備や片付けをお手伝いしてくれた児童生徒のみなさん、練習から本番まで、他方面で助けてくださった先生方、そして、会場で温かい声援を送ってくださった方々、たくさんの方々と音楽を通して、すてきなひと時を一緒に過ごせたことを、うれしく思っています。

2学期、3学期にも出演のチャンスがあります。今回出演を見送った人は、是非次の機会に挑戦してください。出演した人は、お友だちとのアンサンブルの仕方を工夫して、次回は違った形で挑戦してくれるとすてきななと思っています。2学期のミニコンサートも楽しみにしています！！

音楽こぼれ話 <あの町、この町、音楽家が住んだ町 ④

南ドイツの町 アウグスブルク>

アウグスブルクはミュンヘン、ニュルンベルクに次ぐバイエルン州第3の都市です。ローマ属州時代からの古い歴史を持ち、15～16世紀には、フッガー家やヴェルザー家などの大富豪が闊歩した金融都市でもありました。歴史好きの方は、アウグスブルクと聞けば、「宗教和議」という言葉が、頭にすぐ浮かぶかもしれません。1555年、この地で行われた宗教会議で、ルター派のプロテスタント容認の決議が出されました。それ以前に、ルター自身もこの町を訪れたことがあるそうです。

では、この町で生まれた作曲家とはいったい誰でしょう？ 実は、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトのお父さん、レオポルト・モーツァルトが



1719年にこのアウグスブルクに生まれました。つまり、みなさんがよく知っているモーツァルトはザルツブルク生まれでオーストリア人と数えられるのに対し、お父さんのレオポルトはドイツ人ということができます。

このレオポルト・お父さんモーツァルトは、幼いヴォルフガングを天才音楽少年に仕立てた「教育パパ」、そして、各地を連れ歩いて演奏会に出演させた「ステージパパ」として有名です。もちろん、自身も演奏家であり、作曲家でもありました。

アウグスブルクには、このレオポルトの生家が残っており、モーツァルトハウスとして公開されています。

アウグスブルクで生まれたレオポルトは、18歳でザルツブルクに移り、大学で法律と哲学の勉強を始めますが、結局好きな音楽の道に走り、後にザルツブルクの宮廷楽長になります。ヴァイオリンの演奏が得意だったようで、最初はヴァイオリニストとして、それから作曲家、そして最後には宮廷楽長として活躍します。

レオポルトの作品もいろいろ残っていますが、自分の娘（ナンネル）や息子ヴォルフガングの音楽教育のために作曲した「音楽帳」が知られています。尚、長年レオポルトの作品として世界中で親しまれてきた「おもちゃの交響曲（トイ・シンフォニー）」は、近年別の作曲家の作品だと判明したそうです。

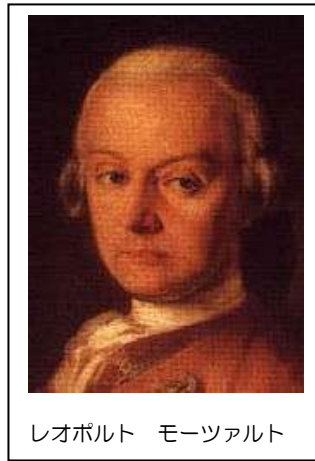
アウグスブルクでは、「三文オペラ」を書いた作家ブレヒトも1898年に誕生しており、ブレヒトハウスも博物館として公開されています。

先述のフッガー家は、16世紀に世界初といわれる低所得者のための計画的集合住宅を建設し、現在も福祉住宅「フッガーライ」として使用され続けているのは、みなさんもよくご存知かと思います。

ドイツの子どもたちみんなが知っているのは、「Augusburger Puppen Kiste」として有名な「マリオネット劇場」です。第2次世界大戦後に設立され、数々のグリム童話やM.エンデのお話を人形劇に仕立てて公演を続けています。「ジム・ボタン」や「ねこのミケシュ」は、たくさん子どもたちに愛される存在です。

レオポルト・モーツァルトやブレヒトを生んだ町、アウグスブルク。他にも見どころはたくさんあるようです。訪れる機会がありましたら、是非「レオポルト・お父さんモーツァルト」のことも思い出してあげてください。

(2 ページ目に続く)



レオポルト モーツァルト

きょうはタップリ 演奏会情報

間もなくコンサートホールやオペラハウスも夏休みに入ります。秋のコンサートシーズンは8月末～9月ごろから再開です。

夏の間は、各地で「音楽祭」が開催されたり、城跡などに仮設舞台を設置して、風情のある野外オペラが開催されたりします。

前回紹介したバイロイト音楽祭をはじめとし、ザルツブルク音楽祭など世界的に超有名な音楽祭は、チケットの入手も困難ですが、音楽祭は野外コンサートは、そのほかにも、本当にあちらこちらで開催されています。旅行先で、すてきな音楽会に出会えるといいですね。

ハーナウ「グリム兄弟フェスティバル」

フィリップスルーエというお城がハーナウにあります。その庭園の野外劇場で、5月からすでに演劇やミュージカルが公演されています。

ミュージカル「ラプンツェル」公演日

7月19日（火） 14時と20時30分

7月23日（土） 16時、 7月29日（金） 20時30分

フランクフルト市内の教会コンサート

ザクセンハウゼン地区にあるドライケーニツヒ教会にて

7月28日（木）19時から

J.S.バッハの命日を記念してオルガンコンサート

ハウプトヴァッハにある聖カタリーネン教会にて

7月28日（木）20時から

同じくバッハの命日を記念してオルガンコンサート

8月7日（日）18時から

オルガンコンサート（バッハ、フランクの曲）

8月21日（日）18時から

オルガンコンサート（フランスのオルガン曲）

夏休み明けのアルテオーパー

ガーシュインのオペラ 「ポギーとベス」

※ミュージカルの先駆となるオペラで、1920年代の南部アメリカが舞台になっています。登場人物はほとんどがアフリカ系アメリカ人で音楽もその伝統的な音楽がふんだんに取り込まれています。

※公演日 8月30日 ～ 9月4日

Bad Vilbel の古城フェスティバル

フランクフルト隣町の一つ、バード・フィルベルの野外コンサートです。こちら5月からすでに始まっており、9月まで演劇、ミュージカル、オペラなどが公演されます。

モーツァルトのオペラ「魔笛」

公演日 7月30日（土）15時から、8月5日（金）15時から

8月9日（火）11時から、 8月20日（土）14時から

9月3日（土）15時から

ミュージカル「エヴィータ」

公演日（いずれも夜の20時15分から開演）

7月 25日、26日、28日、29日

8月 1日、11日、12日、13日、14日（18:15開演）
22日、23日

9月 5日、6日、7日、8日、9日10日、11日（18:15）

今学期で、本校を去られるみなさんへ

1学期末に本校を去られるみなさん、残念ですが、お別れの日が近づいてきましたね。

お別れのときはいつも、

「音楽は一生の友、世界の共通語」という言葉を贈ることにしています。いくつになっても、世界中どこへ行っても、音楽とともに心豊かに過ごされますよう、願っています。

Alles Gute und auf Wiedersehen !!